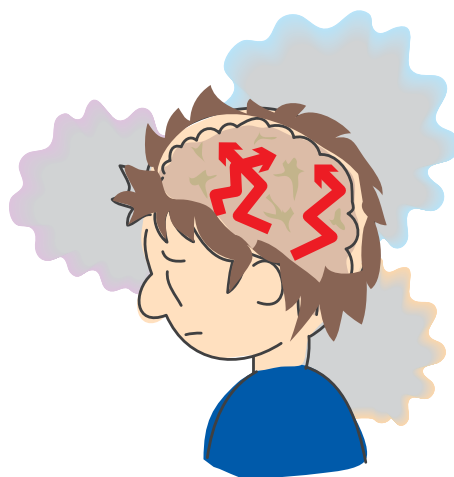


# 統合失調症

おもに青年期から成人初期に発症し、約100人に1人の割合でかかる比較的身近な病気です。



## なぜ起こるのでしょうか？

脳の中の神経伝達に関わる物質が過剰に働いてしまうために、情報の流れが混乱していろいろな症状が出現するらしいといわれています。

## 症状は大きく分けて2つ

症状は多種多彩で一人の患者さんにすべての症状がでるとは限りません。主なものについて大きく2つにわけて紹介します。

### 陽性症状 (発病初期・急性期症状)

- 現実にはない声に話しかけられたり、命令される。(幻聴)
- 誤った意味付けや偏った考えにとられる。(妄想)
- 他にも物事の見え方が変化してとても過敏になったり、行動や会話のまとまりが無くなる場合があります。

### 陰性症状

(急性期の後、消耗期・回復期症状)

- 意欲・関心が湧かない。
- 会話の量が減ったり、内容がまとまりにくい。
- 注意や集中が続きにくい。

## 治療の基本…「薬物療法」



抗精神病薬により、脳内の神経伝達物質のバランスを回復することが大切です。急性期の激しい症状はもとより、慢性期(消耗・回復期)の陰性症状にも有効です。また、再発を防止し、リハビリテーションをスムーズに進めるためにも、薬物療法はきちんと続けることが必要です。

### みんなで支え合って…

患者さんや家族の状況に合わせて利用できる、さまざまな社会資源や福祉制度があります。



- 医療機関
- グループホーム・ケアホーム
- 自立支援給付
- 精神障害者保健福祉手帳
- 自立支援医療(精神通院医療)